令和7年度　指定管理者評価結果票

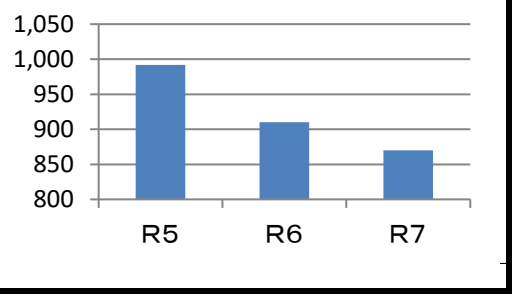
所　管　課	健康福祉部　障害福祉課
評価対象期間	R7.4.1 ～　R8.3.31

1 基本情報

施設概要	名　称	岐阜県立幸報苑
	所在地	山県市大桑3606
指定管理者	名　称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構成員	ー
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	R3.4.1　～　R8.3.31
指定管理業務の内容		・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）（以下「障害者総合支援法」という。）第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第第5条第8項に規定する短期入所（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。）を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数（単位：人）
R5	992
R6	910
R7	870



3 令和7年度の収支状況

（単位：千円）

収入計	212,807
利用料金	211,771
指定管理料	0
その他	1,036
支出計	211,355
人件費	149,292
施設管理費	18,808
その他	43,255
差引	1,452
納付金	ー

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・物価上昇への対応に努めること。	・物品購入に関しては、極力安価な物を探し、購入するように努めている。食品に関しても、委託業者と協力し、なるべく安価で、栄養価を落とすことなく、且つ利用者に満足頂けるようメニューの考案を行い、食材購入をしている。
・立地の条件により外部からの訪問者がどうしても少なくなるだろうが、利用者と地域や学校へ出かけていく等、できるだけ人と出会う機会を増やしていただきたい。	・令和7年度については、近隣小学校の運動会見学（招待あり）、大桑地区主催のイベント栗祭り、かしの木フェスタへの参加や山県市主催の防災フェスタ見学等、地域のイベント等には多く参加できた。

5 評価員会議による評価結果

評　価　項　目	評価点（平均点）	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.6	・義務化はまだされていない地域移行等意向確認の取組を先行して行われた。 ・業務改善の取組について、成果を具体的に検証し、職員間で共有する仕組みをさらに強化することを期待する。
設置目的の充足状況	3.4	・この施設の利用者の特性を生かす取組をさらに検討してほしい。 ・利用者減少の原因を分析し、広報、受入れ方法の見直しなど、具体的な改善策を期待する。なお、事業団施設全体にも言えることなので、みんなで考えていく必要があると思われる。
公共性の確保の状況	3.6	・ゆとりの時間（30分マンツーマン）を利用者がさらに活用できるように検討を進めてほしい。 ・利用者への公平な処遇や危機管理について、基本的な体制が整えられている。 ・高齢化に伴う医療的ニーズへの対応の在り方について、検討を進めてほしい。
経営状況	3.4	・施設設備の修理・修繕の費用負担が増加していること、諸物価等の高騰が予想されることに対応した経営の在り方について、検討を進めてほしい。 ・利用者減少による経営への影響を踏まえ、収入確保と経費縮減を一体的に進める具体策が必要である。
派生的効果	3.8	・ボランティアの受け入れに積極的で、地域の行事への参加にも工夫がみられる。 ・地域交流や実習生の受け入れの機会が増加し、地域との繋がりの機会が増加した。 ・外食、買い物などのお出かけをよくしている。選択の幅を広げることを意識している。

＜評価基準＞

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・地域交流や実習生の受け入れの機会が増加し、地域との繋がりの機会が増加している。

＜評価基準＞

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する